

令和2年中の交通事故発生状況

区 分	人身事故件数		死者数		負傷者数	
	件数	増減数	人数	増減数	人数	増減数
愛知県	24,879	△ 5,957	154	△ 2	29,559	△ 7,452
稲沢市	393	△ 99	5	5	466	△ 129

【愛知県の状況】

令和2年の人身事故件数は、令和元年より5,957件少ない24,879件となり、19.3%の減少となりました。交通事故死者数は154人（同2人減）と減少しましたが、昨年と引き続き全国ワースト2位であり、交通事故情勢は引き続き厳しい状況にあります。

〔交通事故の主な特徴〕

年齢層別では、高齢者（65歳以上）が80人（同0人増減無）、一般（25～64歳）が60人（同0人増減無）、若者（16～24歳）が12人（同2人減）、子ども（15歳以下）が2人（同0人増減無）となっており、高齢者の割合が全体の5割を占めています。

当事者別では、歩行者が60人（同14人増）、四輪車が36人（同14人減）、自転車が29人（同4人増）、自動二輪が21人（同1人増）、原動機付自転車が6人（同3人減）の順に多く、歩行者、四輪車の事故が目立ちます。

【稲沢市の状況】

令和2年の人身事故件数は、令和元年より99件少ない393件、負傷者数は、令和元年より129人少ない466人となりました。交通事故死者数は、令和元年の0（ゼロ）人から5人の増加となりました。

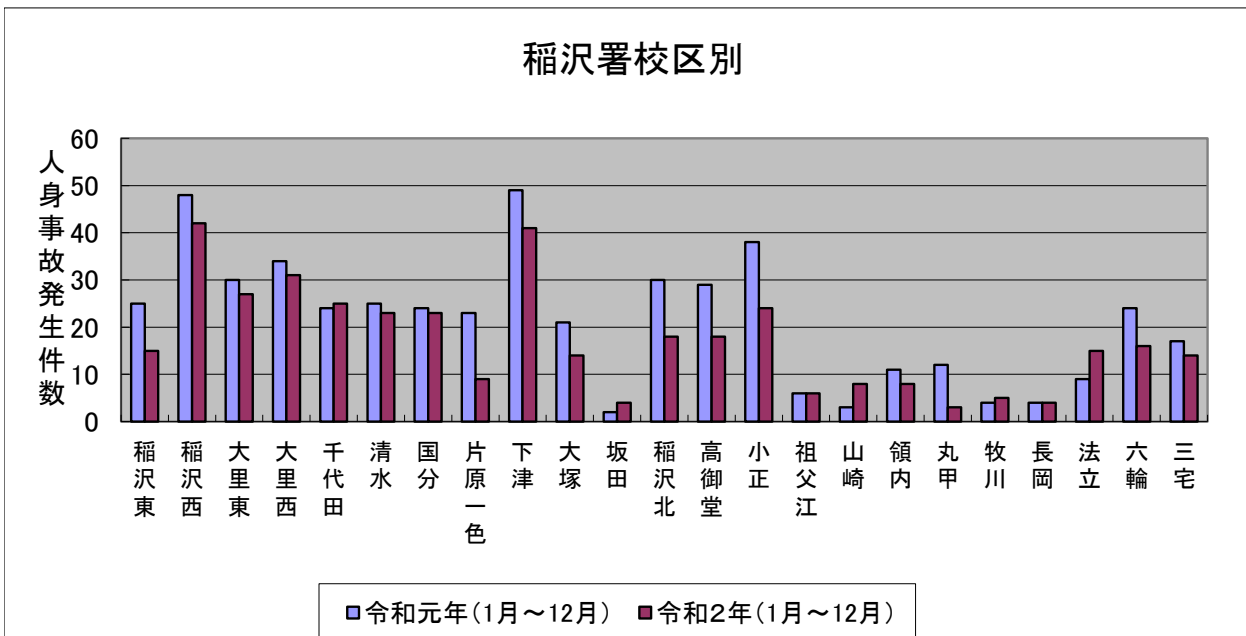
〔交通事故の主な特徴〕

人身事故の類型別では、出合頭事故と追突事故で全体の約70%を占めています。

また、時間帯別では6時から18時、法令違反別では安全不確認や前方不注意、道路形状別では交差点での事故が多くなっています。

地域別では、稲沢314件（同88件減）、祖父江34件（同6件減）、平和45件（同5件減）となっています。

小学校区別では、稲沢西、下津の順で発生件数が多く、山崎、坂田、法立、牧川、千代田が前年に比べ増加しています。



【事故を起さない 事故に遭わないために】

- ・運転者も歩行者も心にゆとりを持ち、交通マナーを守りましょう。
- ・夜間の外出には、明るい目立つ色の衣服や反射材を着用しましょう。
- ・全席シートベルト・チャイルドシートの着用を徹底し、スピードは控えめにしましょう。
- ・道路を横断する際は、左右をしっかりと確認し、無理な横断はやめましょう。



安全・安心のまち いなざわをつくりましょう。